

森を内包する街

建物用途 住宅（離れ：便所と洗面を有する。
将来水廻り等増築して単独世帯として使う事を考慮）
高校生のご長男の生活、勉強スペースとしての離れ、
ご長男の飼っている三匹のネコの為のスペース

お施主さんからの要望 母屋との間に中庭を設け、将来、菜園、ガーデニングが楽しめるような配置にしたい。離れの中で、猫のスペースと人間のスペースを仕切れるようにしたい。安全に昇り降り出来る様、階段のついたロフトを設けたい。
将来、単独の世帯としても使えるよう、台所、風呂等の増築を考慮しておいて欲しい。
屋根は将来、屋上緑化ができる仕様にして欲しい。

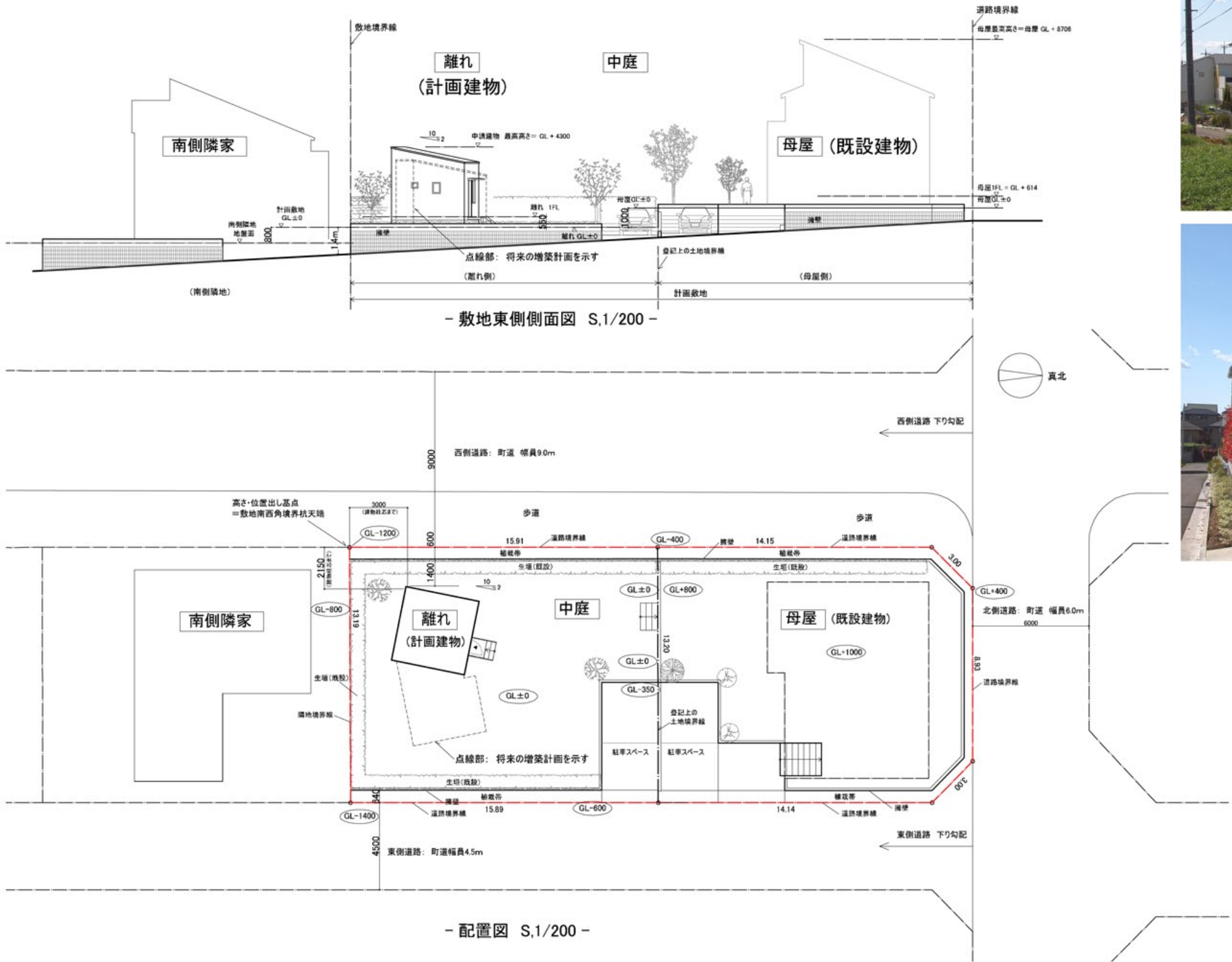
県産木材活用の努力、工夫 お施主さんに木を使う事への意義、木の良さ、等をご理解頂く事、県産木材活用に積極的で、長いおつきあいの出来る地元工務店さん（建設地まで車で10分程度）のご協力、積極的に木材を使う事に努める設計（埼玉県木づかいコーディネーター養成講座受講）、プロジェクトに関わる人達の共通の理解と協働によって地産地消が実践されると考えます。



デザインの特徴 「森を内包する街」をテーマとしました。 周辺の建物との繋がりを保つ為、外装にはあえて木材を用いず、計画建物が出現する事で更に良い“街”が形成される事を図りました。 外観とは逆に建物内装は全て木仕上げとし、同時に、外観からは想像できない様な内部構成（構造材あらし、吹抜と階段のあるロフト）とする事で、建物内部を“森”と見立て、街の中の森林を表現しました。



地域の景観への配慮 計画建物周辺の建物からの形態（片流れ屋根等）、外壁等の色彩、サッシュや雨樋の色等を引用する事によって周辺景観と繋がり、かつ、配置における計画建物の回転（周辺建物に対して二寸勾配＜=11度程度＞の振れ）により、活き活きとした（animated）街並みの形成を図りました。



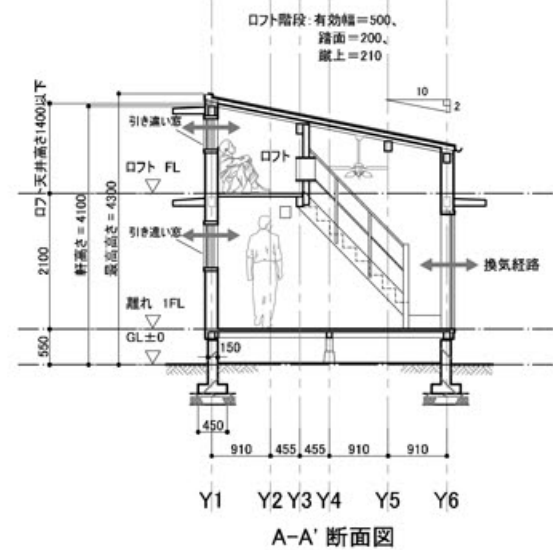
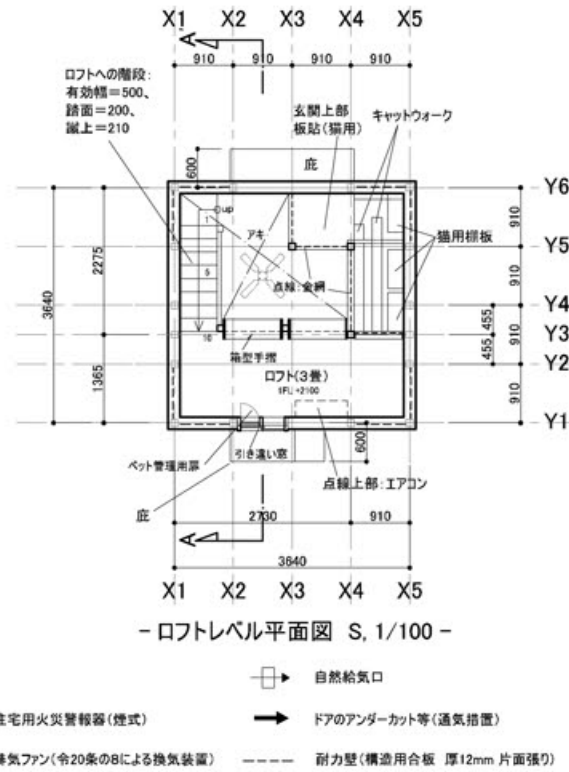
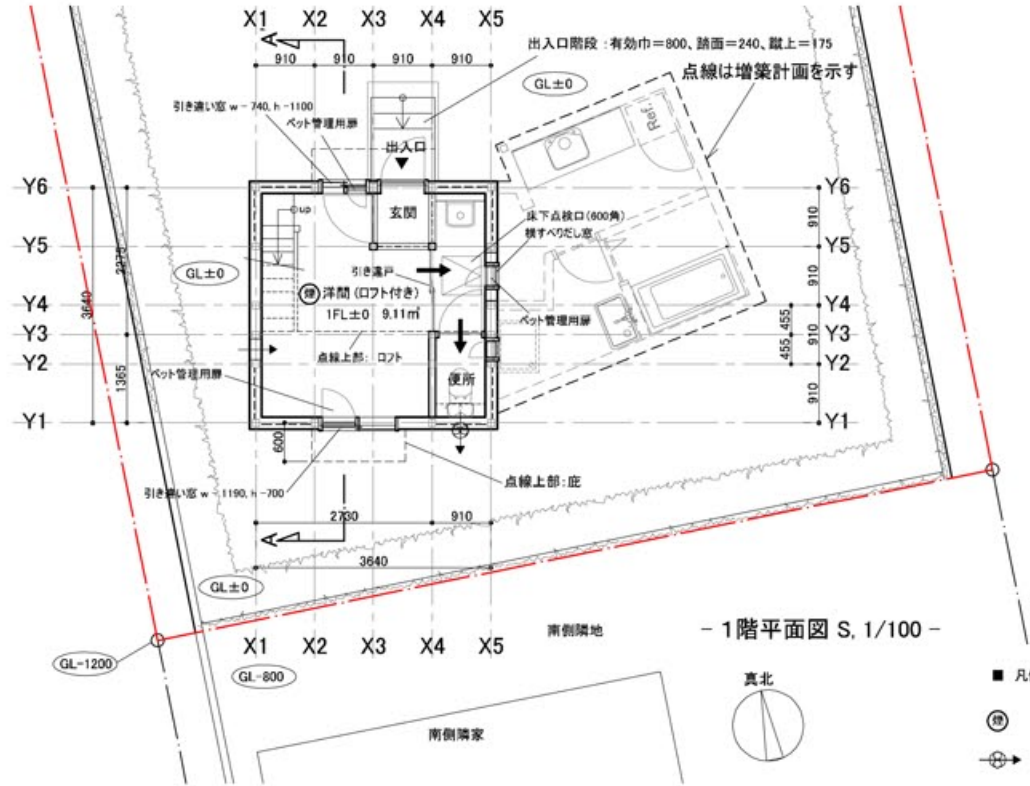
地球環境への配慮 建物前後左右に空地を設け、採光と通風に考慮した配置としました。床・屋根・壁へは断熱材を施工し、開口部建具はペアガラス仕様とし、外壁・屋根へは通気工法を採用、南面へは庇を設置しました。建物内部は上下前後に抜ける屋内換気経路とし、通風可能な玄関建具を採用、シーリングファンによる空気の攪拌と冷暖房時の温度ムラの解消を図りました。又、建物東側外壁へは壁面緑化（アサガオ等の緑のカーテン）用のフックを取付け、屋根の仕様は将来の屋上緑化施工時に緑化基材を固定し易い鋼板縦ハゼ葺きとしました。



森を内包する街



デザインの特徴 「森を内包する街」をテーマとしました。周辺の建物との繋がりを保つ為、外装にはあえて木材を用いず、計画建物が出現する事で更に良い“街”が形成される事を図りました。外観とは逆に建物内装は全て木仕上げとし、同時に、外観からは想像できない様な内部構成（構造材あらし、吹抜と階段のあるロフト）とする事で、建物内部を“森”と見立て、街の中の森林を表現しました。



耐震性 正方形プランとし、構造用合板張りによる耐震壁を四周に均等に設け、バランスのとれた構造プランとしました。1階床、ロフト床、屋根ともに構造用合板貼りとして、水平剛性を高め、基礎（布基礎）底盤幅、立ち上り部分の幅は少し大きくとる事で耐力を高めました。

耐久性 屋根・外壁への通気工法の採用によって壁体内への結露を防ぎ、かつ、外気温の変化に対して緩衝帯として建物が機能する事により、室内における快適さを達成しました。建物の耐久性能が快適さに結びつくことによって住む人にとっては長く住みたい建物（＝耐久性のある建物）になると考えます。また、将来の増築を考慮した配置、建築計画とする事で、耐久性と同時に可変性・永続性を与えました。

木材の乾燥 以下、工務店さんからのコメントを引用～ 構造材は、母屋の杉材のみ天然乾燥でその他は人工乾燥としました。人工乾燥は、木材を高温の釜に入れて乾燥させるため、ほぼ均一な含水率となりますが、温度の影響で木材が褐色になってしまいます（オープンでローストしたような色合い）。一方、天然乾燥は、含水率に若干のばらつきがあるものの、木材の自然の色合いがそのまま残ります。そのため、見えなくなる部分の梁・柱等（大壁部分）は人工乾燥、あらかしの母屋は色合いの良い天然乾燥の木材を使用しました。

シックハウス、バリアフリー 内装建材はF☆☆☆☆、現場施工での接着剤や塗料はF☆☆☆☆を使用、24時間換気システムを設置しました。出入口に接続する外部階段は昇り降りのし易さを考慮し蹴上：175 mm、踏面：240 mm とし、階段段板には屋内、屋外ともに滑り止めの溝切りを施工しました。

ユニークな提案 三匹の猫と共生する住宅（離れ）という建物用途から、縦移動の得意な猫の特性を活かし、人間の頭上空間を利用したネコ用の木製遊具（キャットウォーク）を設けました。また、24時間ネコが居る事を前提とした、環境（通風、空調等）を整えると同時に、人間とネコとの生活スペースのゾーン分け（金網等による間仕切り）を行いました。更に、ネコの管理用に、金網を施した木製扉を各窓の部屋内側に設置し、半畳程の玄関には金網付きの仕切り壁と片開き戸を設置しました。

